



愛知県労働組合総連合

名古屋市熱田区沢下町9-7
労働会館東館3F
TEL 052-871-5433
FAX 052-871-5618
URL http://www.airoren.gr.jp
発行人 樽松 佐一
第126号 2004年1月10日

今年もよろしくお祈いします

愛労連幹事会・事務局員一同

愛労連第30回臨時大会

とき 1月25日(日) 10:00開会
ところ 名古屋市中村区役所講堂

自分を大切にできる こころを育てたい



祐野 真代さん

福祉保育労のぎく保育園分会

子どもたちにも 厳しい世の中だから

「小さな頃から子どもが大好きで、小学校を卒業するとき書いた将来の夢にも保育さんって書いたんです。その夢が実現できて本当につれいれいれです」と話すのは、名古屋市熱田区にあるのぎく保育園(民間)で保育士として働く祐野真代さん。子どもたちは彼女のことを「マリーちゃん」と呼び、友だちのような親しみを寄せながら信頼していることが伝わってきます。

祐野さんは保育士3年目。今年は4歳児のイルカ組の担任で、初めてクラスを1人で担任しています。「複数でクラスを担任するのと違い、先輩たちに助けられながらですけど、自分で計画を立てて、自分でやっていかないと何も進んでいかないと苦勞を語りながらも、「子どもたちが笑顔でいてくれることが一番うれしいですね」と保育を

とおしての喜びもすっかり噛みしめているようです。いま子どもたちが健やかに育っていくには、あまりにも厳しい現実があります。親の労働環境や経済状況が厳しくなる中で長時間労働や夜間労働がひろがり、これに伴って長時間や夜間の保育でしがざるを得ない子どもたちが増えています。また幼児虐待、育児放棄など、子どもの不幸な事件もあとを絶ちません。

「子どもたちがいつも安心できる存在でありたいですし、自分のことが好きになれる、自分を大切にできる心を持ってほしいですね」と語った祐野さんの思いは、親たちの願いでもあるのではないのでしょうか。子どもたちと園舎のテラスでぼかぼかの日差しを浴びながら、ゆったりと折り紙を楽しむ姿がとても素敵でした。

こらも

新年の初仕事はTV東京の「ガイアの夜明け」制作ディレクターとの取材調整で始まりました。「春闘のとりくみを取材しながら今の労働問題とは何かを浮き彫りにしたい」というのが依頼の内容でした。電話では「最賃体験のとりくみを聞きたい」といつか話したが、話を進める中で「トヨタ総行動」「地域総行動」にも関心を示してきました。「企業内組合と年功賃金はもうだめです」「労働組合がパートやフリーターの問題にどうとりくむか」が彼の問題意識です。トヨタやNTTが史上空前の利益を上げています。全国の企業の経常利益は大きざっぱに30~40兆円と思われますが、そのうちの1割をたった2社が独占。富の集中は一方で国民生活と中小企業の経営を追い詰めています。時間給・期間付きで働く労働者が急増し、3~4人に一人が不安定雇用になっていきます。このスピードで5年もたてば正社員の方が少数になるかもしれませぬ。今年の愛労連春闘は本気で職場から地域に、パート賃金の引き上げに踏み出せるか、正念場です。さて今年は何回目の年男。若いつもりでいましたが急に50歳を感じてきました。これまでは10年単位で生き方を考えてきましたが、今年からは一年、一年新しい挑戦をしていきたいと思えます。(K)

